

作 業 環 境 調 査

表1 年度別の調査実施事業場数・単位作業場所数・測定数

区 分	調査事業場延数	単位作業場所延数	測 定 延 数
25年度	272	1 739	15 968
24年度	264	1 679	15 996
23年度	281	1 649	16 357

表2 有害要因別の事業場数・単位作業場所数・測定数

	事 業 場 数		単 位 作 業 場 所 延 数	測 定 数		
	1) 実 数	2) 延 数		2) 延 数	1事業所当り	1単位作業 場 所 当り
総 数	139	272	1 739	16 272	-	-
粉 じ ん	45	84	314	3 558	42.4	11.3
有 機 溶 剤	79	157	771	4 928	31.4	6.4
特 化 物	42	79	204	1 272	16.1	6.2
金 属 (鉛) 等	17	32	125	782	24.4	6.3
そ の 他	6	11	41	764	69.5	18.6
小 計	189	363	1 455	11 304	31.1	7.8
騒 音	29	48	284	3 515	73.2	12.4
事 務 所 測 定	14	31	-	445	14.4	-
その他(気中濃度)	24	31	-	287	-	-
(個 人 暴 露)	6	17	-	102	-	-
(物 理 的 要 因)	10	12	-	159	-	-
(局排開口面風速)	15	17	-	380	-	-
(遊離けい酸)	20	34	-	80	-	-
小 計	118	190	284	4 968	-	-

1) 同一事業場で二項目以上の調査を実施した場合、それぞれ計上し加算したので実際の事業場数より多い

2) 同一事業場で二項目以上の調査を二回以上行った場合、項目ごとに延数で計上し加算した

表3 業種・規模別の調査実施事業場数

規 模	総 計	食 品 製 造 業	関 出 版 連 ・ 印 産 刷 ・ 業 同 業	化 学 工 業	製 石 油 製 品 ・ 製 石 炭 製 品	製 窯 業 ・ 製 土 石 製 品	鉄 鋼 業	金 属 製 品 製 造 業	製 一 般 機 械 器 具 業	製 電 気 機 械 器 具 業	製 輸 送 用 機 械 器 具 業	製 精 密 機 械 器 具 業	そ の 他 の 製 造 業	水 道 業	医 療 業	処 理 及 び 廃 棄 物 業	教 育 機 関	学 術 研 究 機 関	サ ー ビ ス ・ そ の 他
事業場数	139	14	2	9	2	7	2	10	14	10	1	3	12	0	10	4	17	9	13
50人未満	43	2	1	2	0	2	0	3	5	3	0	0	4	0	4	4	4	2	7
50～99人	35	3	1	3	1	0	0	4	1	2	0	0	4	0	0	0	7	5	4
100～199人	28	4	0	2	0	1	1	1	2	2	1	2	1	0	3	0	6	1	1
200～299人	11	2	0	1	1	0	0	0	2	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1
300～499人	11	3	0	1	0	2	1	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0
500～999人	5	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
1000人以上	6	0	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0

表4 有害要因別の作業環境管理区分の内訳

有害要因	A測定区分				B測定区分				作 業 環 境 管 理 区 分			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
総 数	1 548	138	37	1 723	1 434	135	102	1 671	1 413 (82.0)	193 (11.2)	117 (6.8)	1 723
粉 じ ん	291	20	3	314	292	11	3	306	288 (91.7)	21 (6.7)	5 (1.6)	314
有 機 溶 剤 (単 一)	322	8	2	332	318	2	4	324	320 (96.4)	7 (2.1)	5 (1.5)	332
有 機 溶 剤 (混 合)	402	32	5	439	418	9	9	436	393 (89.5)	35 (8.0)	11 (2.5)	439
特 定 化 学 物 質	185	9	8	202	184	5	1	190	184 (91.1)	10 (5.0)	8 (4.0)	202
金 属 (鉛) 等	108	2	1	111	101	2	2	105	105 (94.6)	4 (3.6)	2 (1.8)	111
そ の 他 の 有 害 物 質	38	1	2	41	39	0	2	41	38 (92.7)	1 (2.4)	2 (4.9)	41
騒 音	202	66	16	284	82	106	81	269	85 (29.9)	115 (40.5)	84 (29.6)	284

※ () 内は%

表5-1 有害要因別の測定数、単位作業場所数及び作業環境管理区分(法定)

有害要因	物質名	測定数	単位作業場所延数	評価を行った単位作業場所延数	管理区分		
					1	2	3
粉じん	鉱物性粉じん	* 2 051	197	197	178	18	1
	遊離けい酸含有率	80	-	-	-	-	-
	石棉	12	2	2	2	0	0
	小計	2 143	199	199	180	18	1
有機溶剤	単一有機溶剤	2 056	328	328	316	7	5
	単一有機溶剤内訳						
	アセトン	665	109	109	109	0	0
	イソプロピルアルコール	227	37	37	37	0	0
	エチルエーテル	36	6	6	6	0	0
	エチルベンゼン	7	1	1	0	0	1
	エチレンジクロロモノアチルエーテル(アチルセロソルブ)	6	1	1	1	0	0
	キシレン	139	20	20	20	0	0
	クロロホルム	44	7	7	7	0	0
	酢酸エチル	62	10	10	10	0	0
	酢酸ノルマルブチル	26	4	4	4	0	0
	ジクロロメタン	72	12	12	10	0	2
	N,N-ジメチルホルムアミド	14	2	2	2	0	0
	テトラクロロエチレン	40	6	6	6	0	0
	テトラヒドロフラン	30	5	5	5	0	0
	トルエン	129	21	21	15	5	1
	二硫化炭素	24	4	4	4	0	0
	ノルマルヘキサン	98	16	16	13	2	1
	1-ブタノール	33	5	5	5	0	0
	メタノール	380	58	58	58	0	0
メチルエチルケトン	24	4	4	4	0	0	
混合有機溶剤	2 844	437	437	391	35	11	
小計	4 900	765	765	707	42	16	
特定化学物質	アクリルアミド	12	2	2	2	0	0
	アクリロニトリル	14	2	2	2	0	0
	アルファ-ナフチルアミン	14	2	0	-	-	-
	エチレンオキシド	100	14	14	14	0	0
	エチルベンゼン	295	45	45	42	2	1
	塩化ビニル	18	3	3	3	0	0
	塩素	30	5	5	5	0	0
	シアン化カリウム	14	2	2	2	0	0
	シアン化水素	34	6	6	6	0	0
	シアン化ナトリウム	12	2	2	2	0	0
	トリレンジイソシアネート	6	1	1	1	0	0
	ベンゼン	44	7	7	7	0	0
	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	15	3	3	2	0	1
	ホルムアルデヒド	243	38	38	25	8	5
	砒素	14	2	2	2	0	0
	弗化水素	282	46	46	45	0	1
	ヨウ化メチル	12	2	2	2	0	0
小計	1 159	182	180	162	10	8	
金属(鉛)等	インジウム	86	14	0	-	-	-
	カドミウム	30	3	3	3	0	0
	クロム酸	86	12	12	12	0	0
	重クロム酸	14	2	2	2	0	0
	コバルト	138	23	23	22	1	0
	水銀	82	13	13	12	1	0
	鉛	12	2	2	2	0	0
	ニッケル	138	23	23	19	2	2
	ベリリウム	14	2	2	2	0	0
	マンガン	176	29	29	29	0	0
小計	690	109	109	103	4	2	
ダイオキシン類	* 764	32	32	30	0	2	
総計	9 656	1 287	1 285	1 182	74	29	

※相対濃度計によるA、B測定点数

表5-2 有害要因別の測定数、単位作業場所数及び作業環境管理区分(自主)

有害要因	物質名	測定数	単位作業場所延数	評価を行った単位作業場所延数	管理区分		
					1	2	3
粉じん	粉じん	* 1 495	115	115	108	3	4
	小計	1 495	115	115	108	3	4
有機溶剤	単一有機溶剤	0	0	0	0	0	0
	トルエン(5%以下)	24	4	4	4	0	0
	混合有機溶剤	15	2	2	2	0	0
小計	39	6	6	6	0	0	
特定化学物質	アンモニア	12	2	2	2	0	0
	塩素	12	2	2	2	0	0
	硝酸	12	2	2	2	0	0
	二酸化硫黄	6	1	1	1	0	0
	弗化水素	48	8	8	8	0	0
	硫酸	25	5	5	5	0	0
小計	115	20	20	20	0	0	
金属(鉛)等	鉛	14	2	2	2	0	0
	小計	14	2	2	2	0	0
その他の有害物質	アセトニトリル	18	2	2	2	0	0
	オイルミスト	30	4	4	4	0	0
	tert-ブタノール	6	1	1	1	0	0
	メチレンビスフェノールイソシアネート	12	2	2	1	1	0
	小計	66	9	9	8	1	0
総計	1 729	152	152	144	4	4	

※相対濃度計によるA、B測定点数

表6 作業環境管理区分の過去3力年の推移

有害要因	作業環境管理区分											
	23年度				24年度				25年度			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
総数	1 347 (82.0)	175 (10.7)	120 (7.3)	1 642	1 385 (83.3)	163 (9.8)	115 (6.9)	1 663	1 413 (82.0)	193 (11.2)	117 (6.8)	1 723
粉じん	302 (92.4)	20 (6.1)	5 (1.5)	327	292 (93.3)	18 (5.8)	3 (1.0)	313	288 (91.7)	21 (6.7)	5 (1.6)	314
有機溶剤	706 (94.3)	25 (3.3)	18 (2.4)	749	748 (94.0)	28 (3.5)	20 (2.5)	796	713 (92.5)	42 (5.4)	16 (2.1)	771
特定化学物質	126 (92.6)	6 (4.4)	4 (2.9)	136	130 (92.2)	5 (3.5)	6 (4.3)	141	184 (91.1)	10 (5.0)	8 (4.0)	202
金属(鉛)等	69 (98.6)	1 (1.4)	0 (0.0)	70	87 (97.8)	2 (2.2)	0 (0.0)	89	105 (94.6)	4 (3.6)	2 (1.8)	111
その他の有害物質	57 (87.7)	0 (0.0)	8 (12.3)	65	53 (84.1)	2 (3.2)	8 (12.7)	63	38 (92.7)	1 (2.4)	2 (4.9)	41
騒音	87 (29.5)	123 (41.7)	85 (28.8)	295	75 (28.7)	108 (41.4)	78 (29.9)	261	85 (29.9)	115 (40.5)	84 (29.6)	284

※ () 内は%

表7 調査結果に基づく改善指導の状況

作業の区分	改善指導の内容		改善指導事業場数	
			実数	%
有害物質	生産技術的対策	代替・使用制限	4	2
		生産工程・作業方法の改善	10	5
	環境技術的対策	設備の密閉化・湿式化	26	12
		局所排気装置(設置・改良)	55	25
		全体換気装置(設置・改良)	11	5
	作業管理対策	汚染防止設備の保守管理	17	8
作業行動の改善		15	7	
騒音	騒音発生源・伝ば経路対策	保護具	48	22
		その他の対策	36	16
		合計	222	100
	受音者対策	発生源の低騒音化	13	6
		設備・工程等の改善	21	6
遮音対策		14	7	
その他の対策	13	6		
合計	207	100		
総合			429	

※第2、第3管理区分のみ記載